

京都府産農林水産物・加工品の輸出促進について

【担当省庁】農林水産省

インバウンドを含めた観光向け需要に支えられてきた京都府産高級食材の輸出を促進することで、新たな需要を拡大させ、ひいてはコロナ禍などの突発的な需要減少のリスクを分散できるよう、以下の措置を講じていただきたい。

- 京野菜や和牛などの高級食材を活用した輸出向け商品の開発や宇治茶や京の酒などの加工品も含めたECサイトでの販売強化など、海外販路の拡大に向けた取組への支援
- 宇治茶の欧米等への輸出拡大に向けた生産体制強化に係る取組への支援と、日本茶の中国向け輸出再開に必要な放射性物質検査証明書等に係る日中政府間合意の早期実現や、残留農薬基準(インポート・トレランス)の早期決定など、農林水産物の輸出障壁解消に向けた輸出国・地域への働きかけ強化

【現状・課題等】

■府内産高級食材や日本酒の需要低迷の継続

回復傾向の食材もあるが、コロナ禍前の水準には戻っておらず、需要低迷は継続

- ・賀茂なす： 単価の対前年同月比 5月＝61％ 8月＝90％
- ・宇治茶： 一番茶の単価の対前年比 煎茶＝72％ てん茶＝82％
- ・和牛肉： A4枝肉単価の対前年同月比 5月＝70％ 8月＝90％
- ・日本酒： 売り上げの対前年比 5月＝48％ 8月＝79％

■コロナ禍に伴う消費行動の変化も踏まえた新たな輸出の取組

家食をターゲットにした高級料亭弁当の輸出向け冷凍商品などの開発や、非接触・非対面の生活様式の実践も踏まえた、オンライン料理教室などのネットを利用した販売促進など、新たな輸出促進の取組への支援が重要

■宇治茶の輸出向け生産体制の強化

欧米等の残留農薬基準に適合した栽培技術の確立に向けた実証ほの設置や茶の改植、農業機械等の導入が必要

■輸出障壁解消に向けた輸先国・地域への働きかけ強化

輸先国・地域の残留農薬基準がない又は日本の基準と異なるなどの、農林水産物の輸出障壁を解消するために輸先政府への働きかけが必要

京都府 の担当課	農林水産部 流通・ブランド戦略課(075-414-4941) 農産課(075-414-4944) 畜産課(075-414-4983)
-------------	---

【国の事業等】

■概算要求〔農林水産省〕

- ▶ GFP農林水産物・食品輸出グローバル産地づくり強化対策 3,552百万円
(令和2年度予算469百万円)
輸出用生産体制の確立や事業効果の検証など、グローバル産地の形成を支援
- ▶ 地域食農連携プロジェクト(LFP)と連携した加工食品の輸出の支援 36億円の内数
(令和2年度予算5億円の内数)
地域の有望食品を発掘し、輸出可能な商品開発・PR、衛生管理の向上等を支援
- ▶ 持続的生産強化対策事業のうち、茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
21,466百万円(令和2年度予算19,371百万円)
茶等の地域特産物について、地域の実情に応じた生産体制の強化、需要の創出
など生産から消費までの取組を総合的に支援
- ▶ 輸出環境整備推進事業 3,188百万円(令和2年度予算1,675百万円)
輸出先国の規制の緩和・撤廃に向けた協議の加速化や、輸出先国が求める食品
安全規制に対応するための事業者の取組を支援

【京都府の取組】

■「おいしい京都」世界戦略事業(令和2年度予算23,900千円)

府内産農林水産物・加工品(京もの)の認知度向上による需要拡大のため、海外でのフェア開催や「京もの提供店」の海外展開等販売促進活動を実施

■宇治茶ブランド世界発信事業(令和2年度予算14,000千円)

宇治茶の新たな市場・販売拡大を図るため、宇治茶のプレミアムブランド化や商標対策を推進するとともに、茶業振興や世界文化遺産登録に向けた取組を推進

■京都府の輸出状況(令和元年度計 約12億円)

品目	輸出相手国
宇治茶	香港、シンガポール
牛肉	シンガポール、EU、タイ、台湾
京野菜	香港、シンガポール、台湾
その他(加工品等)	香港、シンガポール、台湾 等

■台湾への京野菜輸出産地の育成(GFP農林水産物・食品輸出グローバル産地づくり推進事業)

京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会(府と関係団体・事業者で構成)では、台湾向け輸出用農産物の農薬残留検査や保存性向上試験を実施し、令和元年から本格輸出を開始。輸出拡大に向け、今後も試験・調査を継続することが必要

(令和2年度採択額6,000千円(要望額9,703千円))